

目標達成計画

作成日: 令和 1 年 8 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	拘束はしないという思いは各自思っているが。 ①現在施錠が3か所あり見直されていない ②拘束をしていることに対し経過観察、再検討の定期的、話し合いと記録が不十分 ③壁とベッド柵による拘束がある	①拘束をせずに介護が出来る環境の整備としてスタッフの介護知識、技術のスキルアップを図る ②拘束に関する記録の徹底 ③拘束の事実がスタッフが気が付き廃止に向けての取り組みが出来る	①施設内外の拘束研修の受講と伝達講習 ②拘束記録の見直しと記録を行う ③スタッフ執務時の場所では施錠をせず、昼食時等短時間でも施錠をしない認識を持つ ④ベッド柵は最少利用で安全への配慮を行う	I ~ 6月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。